

2024年度 感染対策ラウンドでの助言内容

ラウンド時にICNや保健所職員が助言した内容の内、特に共有させていただきたい内容です。
ご案内の際にお送りしたアクションリストと併せてご活用ください。

※複数施設で助言した内容に★をつけています

	アクションリストの項目番号	確認項目	助言したこと
洗面台	2	洗面台に汚れやぬめりがなく乾燥している	水回りは病原体が繁殖しやすいので、毎日の清掃が望ましいです
	3	スポンジは洗浄後乾燥させ、1～2週間に1回交換している	・スポンジが定期的に交換されておらず、黒ずんでいる物がありました ・直に置かず、概ね1週間で交換するか、洗浄・乾燥させてください★
	4	水がはねる所にペーパータオルや手袋等を置いていない	・手袋は、水撥ねで污染されないように、歯ブラシ置き場や洗面台から離して設置しましょう ・水回りの掲示物が水撥ねでヨレヨレになっていました。必要な掲示物の見直しと、ラミネートなどで水分を吸収しないような工夫をお願いいたします
	6	口腔ケア用品・かみそり・ひげそり等は個人ごとに保管している	・歯ブラシが他の人の物と重なっていました。歯ブラシは唾液や血液が付着するため感染性があります。歯ブラシ立てで複数の歯ブラシを管理する場合は、重なり合わないよう間隔を空けましょう★ ・床に近いところは埃が舞うため、歯ブラシセット等は床から30cm以上上で保管しましょう
トイレ	9	便器・便座が污染していない	・トイレのノズル部分は腸内細菌によって污染されているという報告があります。ノズル部分は1日1回の清掃が必要と考えます
蓄尿バッグ	11	尿バッグは床に接触しないように固定している	・床に籠を置き、その上に蓄尿バッグを置いている場合があります。蓄尿バッグはできるだけベッド柵に取り付け、床に触れない高さに配置するようにしてください ・蓄尿バッグは膀胱より高い位置にならないようにする(床の近くに蓄尿バッグを置く場合はベッド柵に蓄尿バッグを固定し、床と触れないようにしましょう)

	アクションリスト の項目番号	確認項目	助言したこと
汚物室	14	汚物廃棄時は、個人防護具(手袋・マスク・エプロン・フェイスシールドorゴーグル)を使用している	・排泄物の廃棄や尿器の洗浄など汚物処理槽を使用する際は水撥ねにより、周囲の環境だけでなく、医療従事者自身が汚染される可能性があります ・職員は汚染防止のために適切なPPE（手袋、エプロン、マスク、アイシールド）を着用することが重要です
	16	陰部洗浄ボトルは利用者ごとに洗浄・消毒したものを使用している	・複数人の尿を回収する場合、それぞれに消毒・乾燥させた容器を使うことが必要です ・替えの容器が無く、やむを得ない場合は容器にビニール袋をかけて尿を回収し、入所者毎にビニール袋を替えて、最後に洗浄・消毒・乾燥させる方法があります ・同じ入所者に1つの尿器を使用する場合も、洗浄のみでは臭気や微生物の増殖の可能性があるため、毎回の洗浄・消毒を推奨します。最低でも1日1回は実施しましょう
	17	消毒液の濃度は適切である	・次亜塩素酸ナトリウムは希釈後時間が経つと消毒効果が薄まるため、使用時に希釈するタイプを使用しましょう ・次亜塩素酸ナトリウムは長期保管や高温・直射日光等により塩素濃度が低下します。希釈後も遮光ができる容器に入れ、冷暗所で保管してください ・使用期限が過ぎた次亜塩素酸ナトリウムは十分な濃度ではない可能性があります。購入から3年以上経過した古い製品の使用は勧められないという情報もあります ・特に大容量製品からの詰め替えなど、容器に内容物の記載がない場合や、記載内容と内容物が異なる場合は事故が起こる危険性があります。使い切れるサイズの本体を使用するか、内容物を明記しましょう
	18	★浸漬消毒する物品は、消毒液に完全に浸かっている	・尿器の消毒は、容器の内側の消毒だけでなく、外側や縁も汚れていますので、容器全体を消毒液に浸け込みましょう。ふきとり消毒は十分な消毒ではありません★ ・ポータブルトイレの消毒は、尿器の消毒と同様、容器全体を完全に浸漬させるのが最も確実です ・ポータブルトイレのバケツは、尿器の消毒と同様に浸漬消毒することが最も確実な消毒方法です ・浸漬消毒ができない場合はバケツの縁、外面、取っ手部分は次亜塩素酸ナトリウムを十分に浸したペーパー等で拭きましょう。ポータブルトイレの本体も同様に拭いてください（ポータブルトイレのバケツをビニール袋で覆い、使用方法もあります）
	19	未使用のオムツや使用前の便器・尿器等を汚物処理室に置いていない ※清潔、不潔を区別して別々に保管している	・水撥ねの影響や床上25cmは床から舞い上がる埃により物品が汚染される可能性があるため、汚物処理槽周辺の物品は最小限にすることが望ましいです

	アクションリスト の項目番号	確認項目	助言したこと
カーテン	オプション 1	＜カーテンがある場合＞ 定期的に洗濯している	・いつ、誰が、どのように洗濯するか手順を作成し継続して管理できるようにしましょう ・トイレに設置しているカーテンは、肉眼的な汚染がなくても不潔なものとして扱い、カーテンに触れた後は必ず手指消毒を行うようにしてください★
オムツ交換 カート	オプション 2	未使用物品と使用後物品を分けてカートに載せている	・清潔と不潔でカート内のソーニングは行われていますが、境界線が曖昧でした。プラスチック板等を利用することで確実にソーニングができるでしょう ・清潔なおムツは載せすぎない事(積載物品が多いと落下の危険がある)と、使用後オムツやゴミ箱に接触しないことがポイントです。運搬方法や物品配置を工夫しましょう。使用後は必ず、オムツカートを消毒薬で拭きましょう
	オプション 3	使用後のカートは毎回消毒している	
	オプション 4	明らかに汚染が多い場所や清潔物品の傍にカートを置かないようにしている	
その他		ゴミ箱	・ゴミ箱の蓋は汚れた手で触ることになりますので、足ペダル開閉式のゴミ箱を提案します
		段ボールの再利用	・段ボールは湿度や温度が保たれ、虫や病原体の住み家になりやすいです。物品等の保管は洗浄もしくは拭くことができる材質を検討しましょう
		顔拭きタオル、下用タオルの管理	・顔拭き用タオルは濡れた状態では雑菌が繁殖します。必要な量を濡らし保温器に入れる方が清潔です。可能であれば、顔拭き用タオルを汚物室以外で準備できればより清潔です ・下用タオルを濡らした状態で保管しておく、と、病原体の温床となりやすいので、乾燥状態での保管をお願いします
		リネン庫	・リネン庫に転倒時の緩衝マットを収納する場合は、清潔リネンと接触する可能性がありますので、変更を検討ください
管理者用	3	布製のエプロンを使用していない	・ディスポエプロンが難しい場合は、布エプロンを複数組んで準備し、ローテーションで使用することや、水分が染み込まない素材のエプロンを使用し、拭き取り消毒などで対応している方法もあります。 感染症が疑われる場合は、ディスポエプロンを使用する など、その時々で感染リスクを考えた使い分けをお願いします

✿各施設の工夫を紹介します✿



コップや歯ブラシが水撥ねしない高さに設置されており、清潔に保たれていました



清潔物品専用のカートとして管理されていました
(カートも毎日消毒されていました)



浴室使用後に排水溝の清掃を実施されており、カビ等の汚染は見られませんでした



バケツのフタに消毒の希釈方法について記載があり、すぐに消毒薬を作成できるよう取り組まれていました